



令和7年度「新津第一中学校教育ビジョン」の達成度(年度末評価)について

今年度の重点的な取組である「主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指した授業改革の推進」、「支援的人間関係づくりの推進」、「探究学習の充実および地域との連携」について、その達成度を示す学校評価の集計結果を報告します。

<1 主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指した授業改革の推進>

評価指標

- ①対話を重視した実践を行い、授業改善に取り組んだ教職員が90%以上 → 達成度：83%（前期77%）
- ②単元ごとの振り返りを実施した教職員が90%以上 → 達成度：90%（前期85%）
- ③平日60分以上、休日90分以上家庭学習をする生徒が80%以上
→ 達成度：平日60分以上53.6%、休日90分以上38.6%（前期：平日60分以上50%、休日90分以上31%）

「深い学び」を実現する単元デザインおよび対話を重視した授業の実践に関して

対話を重視した実践を行い、授業改善に取り組んだ教職員は83%でした。2学期にはOJTや初任者研修の公開授業が多く実施され、対話的な活動を授業に取り入れようとする教職員の割合が増加しました。しかし、目標である90%には達しなかったため、今後も教職員全員で対話を重視した授業改善に取り組み、一人一人の授業力向上に努めます。また、OJTや公開授業の様子を録画してオンデマンド化するなど、研究推進部を中心にして研修の方策を検討し、より充実した校内研修となるよう工夫して参ります。

振り返りの継続に関して

単元ごとの振り返りを実施した教職員は90%で、目標に到達しました。振り返りを行い、自分の学びや気づきをより確かなものにしようとする意識は、生徒にも醸成されてきています。引き続きiPad等を活用しながら方策を工夫し、取組を継続していきます。

家庭学習の充実に関して

「平日60分以上家庭学習している」と回答した生徒は53.6%、「休日90分以上家庭学習している」と回答した生徒は38.6%という結果でした。アンケートの数値として、前期に比べて有意な変化は見られなかったため、家庭学習の習慣化は引き続き当校の課題であり、改善策を講じていく必要があります。ただ、高校入試を前にした3年生の家庭学習時間が前期に比べて大きく増加していること、また、各学年の定期テスト前の家庭学習時間が1日平均190分となっており、定期テストを目標にした学習意識がより一層高まっていることがわかります。今後も、必要に応じて計画的に学習課題を各教科で提示したり、生徒が振り返りの記述を基にして家庭学習の内容を書き記したりする活動を継続的に実施していきます。

<2 支援的人間関係づくりの推進>

評価指標

- ①「学校生活が楽しい」と回答した生徒が90%以上 → 達成度：91%（前期90%）
- ②「自分にはよいところがある」と回答した生徒が75%以上 → 達成度：81.4%（前期81%）

自律性と社会性を育む生徒指導に関して

「学校生活が楽しい」と回答した生徒は91%で、前期を1%上回りました。「クラスの居心地が良い」88.5%、「互いの個性や違いを認めて生活している」98.9%、「思いやりの心をもって他者に接している」97.8%と、いずれも前期と同様に高い水準でした。また、「自分に良いところがある」と回答した生徒も引き続き80%を超えています。

生徒会活動や行事に積極的に参加するなど、様々な活動を通して自分なりの楽しさを見つけるとともに、頑張りを実感することのできた生徒が多く見受けられます。教職員も、97%が「生徒同士の良好な人間関係づくりを計画的に実施した」、「行事の事前および事後指導の充実を図った」と回答しており、学年・学級を中心とした安心・安全な居場所づくりの取組が今年度も実施されていることがわかります。「学校生活が楽しい」や「クラスの居心地が良い」と多くの生徒が回答する風土をつくることで、生徒が自分らしさを発揮しようとする意欲や自己存在感を高めることにつながっています。今後も、生徒が個性を見つけ、学校生活の楽しさや自分の良さに気付く手立てを講じながら、自己存在感を実感できるよう努めて参ります。

いじめ・不登校への対応に関して

いじめや不登校については、教職員の 97%が「いじめの早期発見に努め、確実に対応した」、「不登校傾向の生徒への適切な支援体制を整えた」と回答しました。当校では、毎月実施している悩みごとアンケートや定期的な教育相談等によって早期発見に努めるとともに、問題発生時には校内いじめ対応ミーティングを開くなど、迅速かつ組織的な対応を目指して取り組んでいます。今後も、生徒の人間関係について教職員がアンテナを高くし、より綿密な連携体制を構築していきます。

体力・健康づくり、食育の推進に関して

「毎日朝食を食べている」と回答した生徒は 89.3%、「運動が好き」と回答した生徒は 79.5%、「体を動かして遊んだりスポーツをしたりしている」と回答した生徒は 74.5%でした。また、93%の生徒が「保健体育の授業に意欲的に取り組んでいる」と回答しました。今年度も、学年ごとに外部講師による講演会等を計画的に実施することができました。今後も各活動を引き続き実施し、啓発に努めて参ります。

<3 探究学習の充実および地域との連携>

評価指標

- ①「地域のことにふれたり調べたりする学習が好き」と回答した生徒が 80%以上 → 達成度：69%（前期 74%）
- ②「地域や学校で先生以外の大人からほめられたり認められたりしてうれしいと感じることがある」と回答した生徒が 80%以上
→ 達成度：86%（前期 87%）
- ③「地域人材等と連携して活動を展開できた」と回答した教職員が 80%以上 → 達成度：100%（前期 95%）

ESD 探究学習の充実および地域と一体となった活動の展開に関して

「地域のことにふれたり調べたりするのが好き」と回答した生徒は 69%で、前回より 5%ほど後退する結果となりました。「地域や学校で先生以外の大人から褒められたり認められたりして、うれしいと感じることがある」と回答した生徒は 86%、「地域人材等と連携を図って活動を展開することができた」と回答した教職員は 100%でした。2 学期は、地域学習発表会（1 年生）、職業講話（2 年生）、進路計画づくり（3 年生）と、各学年の探究学習が結実期を迎えており、調査活動よりも発表や振り返り、まとめといった活動が主になっていることがアンケート結果から分かります。また、「自分の地域が好き」と回答した生徒は 90.4%、「総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報収集、整理、発表に取り組んでいる」と回答した生徒は 88.7%と、いずれも高い水準を維持しています。来年度も、地域探究学習を軸とした活動を継続するとともに、生徒が地域社会を良くするためにできることを主体的に考えることができるよう、改善を図ります。

稲作体験活動では、地域ボランティアと協力しながら熱心に稲刈りに取り組む生徒の姿が見られました。また、収穫祭でこれまでの活動を振り返るとともに、収穫した米を各家庭に持ち帰ることで、農業の喜びを実感として味わう良い機会となりました。来年度も、地域ボランティアとの協働の幅を広げることで地域や保護者と一体となった活動を目指すとともに、小学校での学びをふまえつつ、事前・事後学習を充実させた体系的な計画を作成するなど、改善に取り組んで参ります。

地域貢献活動の推進に関して

今年度も、新津松坂流し（新津まつり）をはじめとして、数多く開催された地域主催のイベントに大勢の生徒が参加しており、アンケートでも 90.4%の生徒が「自分の住んでいる地域が好き」と回答しました。今後も、生徒が地域の一人として、地域を活性化させる活動により主体的に参加できるよう、啓発活動や意欲の向上に努めていきます。

今後も、新潟市の目指す授業づくりの方向性を教職員で共有し、支援的人間関係づくりを基盤とした授業改善に努めます。また、学校と地域で互いのニーズを共有するとともに、well-being の視点で連携・協働しながら、来年度の教育活動を計画的に実施していきます。

校舎内の設備についてのお知らせ

当校の設備に関して 2 点、お知らせいたします。

- ①昨年末に教室棟女子トイレの工事をを行い、3、4 階の個室が洋式トイレになりました。
- ②今年度末（3 月末）をもって、市内中学校に設置されている公衆電話が撤去されることになりました。それに伴い、当校では公衆電話の使用を 3 月 13 日（金）までとさせていただきます。春休み以降の使用はできません。今後、送迎等が必要な場合は、事前にお子さんと下校時刻をよくご確認いただき、お越しくださいますようお願いいたします（平日の終学活終了時刻は、当校ホームページ「月の予定」で見ることができます）。急な予定変更等があり、お子さんからご家庭への連絡がどうしても必要となる場合につきましては、職員室の電話を貸し出しますので、職員に申し出るようお伝えください。ご不便をおかけいたしますがよろしく願いいたします。